

様式第2（第5条関係）

令和2・3年度第3回犬山市青少年問題協議会・犬山市青少年センター 運営協議会 会議録

- 1 附属機関の名称 犬山市青少年問題協議会及び犬山市青少年センター運営協議会
- 2 開催日時 令和2年10月22日(木)午前10時～午前11時40分
- 3 開催場所 犬山市役所 301会議室
- 4 出席者した者の氏名
 - (1) 委員：佐々由高、松本里美、板津克哉、松井淳司、畑竜介、渡辺孝春、田島奈生美、深見公子、近藤友貴、沖藤妙子、南谷亜紀（11名／11名中）
 - (2) 執行機関：文化スポーツ課課長補佐古田隆行、同課青少年センター所長井戸則夫、同所相談員角村利恵

5 議題

- (1) 研修「学校におけるジェンダーフリー」
- (2) 第2回犬山市青少年健全育成市民会議の報告について
- (3) 青少年健全育成講演会の開催について
- (4) 青少年センターの相談事例について
- (5) 3分間スピーチ
- (6) 連絡・報告事項

6 傍聴人の数 0人

7 内容

○会長あいさつ

定刻に全員出席いただいたことへのお礼を述べた後、本日は協議の前に研究テーマに即した研修を行う旨伝えた。

(1) 研修

○研修題：「学校におけるジェンダーフリー」

○講師 犬山市教育委員会学校教育課 主幹 神谷 勝治 氏

○講話要旨

- ・日本では人口の8.9%がLGBTと言われている。(11人に1人)これは左利きの人の割合とほぼ同じである。
- ・LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった言葉である。
- ・オリンピック憲章には「いかなる差別も認めない」と謳われている。東京オリンピックでは多様性と調和をスローガンにしている。日本では認められていないが、ロンドンでは先に開催されたオリンピック後に同性婚を認めるようになった。日本でもオリンピック後に考え方の変革があるかもしれない。
- ・県内の小中高等学校における男女混合名簿の導入は年々増えつつある。中でも名古屋市は小学校で100%、中学校で76%導入している。しかし名古屋市を除く県で見ると公簿での導入は小学校で46%、中学校では16%と低い。さらに男女別名簿では、「男子が先」としているところがほとんどである。
- ・以前に、女性として生まれたが、現在は男性として生活しているトランスジェンダーでありLGBTアドバイザーの山口颯一（しょういち）氏のお話を聞いたことがある。印象深かったのは「LGBTについて知らなかったら、知ってください」、その上で「知って、探すことは絶対しないでください」という言葉であった。そして相談しやすい環境づくりが大事であると言われた。

《質疑》

- 中学校の制服の見直しとの関係はいかがか。

- ・犬山市では中学校の制服の見直しを進めてきた。その背景はLGBTだけではない。寒暖の差への対応、性的被害防止、経済的メリットなど、保護者や生徒・児童の意見も尋ねて新しい制服の導入を決めた。
 - ・児童、生徒には人権について考える機会と捉えている。
 - ・私服は競争に走り、かえって経済的に負担が大きい。また男女差が現れやすい。
 - ・完全にブレザーに変えていくわけではない。
従来からの制服の着用も継続して認めていく。自宅にあるポロシャツも着用可である。
 - ・制服の販売店での新規予約は、新しいブレザー方式の制服がほとんどである。
- 犬山市では、幼稚園時には男女混合名簿であった。ところが、小学校に入学したら男女別名簿になった。男女混合名簿の導入が進まない理由は何か。
- ・身体測定や健康診断では、性に関する意識が芽生えた年代では男女別に行うため男女別名簿が必要である。
 - ・中学校になると、体育などでは男女の体力差に応じて男女別に授業を行っているため、男女別名簿が必要である。

《意見交換》

- ・最近男女の区別がつかない名前が増えてきた。名前を呼ぶとき「くん」「さん」づけで呼ぼうとするとき困るときがある。そのため男女の区別なく「さん」づけで呼ぶようにしている学校もある。
- ・名前の最後に「くん」「さん」「ちゃん」を付けるのは日本の文化である。また他人の子どもに対して「おじょうさん」「ぼく」と呼びかける言葉があり間違えると気分を害される。しかし日本語には両者に対する共通する言葉がない。根本にある文化を変えるには時間がかかる。
- ・既成概念が強い背景もあるが、依然と比較するとTV等に身体的男性が女性の服装で出演する番組もあり少しずつ概念は変わっている。
- ・男女の区別の記入を求める書類の前で、どちらにつけたらいいのか迷う人もいる。
- ・男女の区別の記入が必要か否か考える必要がある。男女の区別を書かなくて良いようにすると扱いがシンプルになるものもある。
- ・昔は、学校での児童生徒の名簿作りは、手書きやワープロ打ちであった。今はエクセルを利用すれば簡単に男女混合名簿から必要に応じて男女別名簿に変換できる。
- ・学校の信頼する先生だけに、内緒で相談したことの秘密は守られるのか。相談者は相談したら、皆に知られてしまうのではないかという不安がある。
- ・死にたいと相談に来たものが、親には内緒にしておいてほしいと言ったとき、本当に親に伝えなくていいのか。時には相談情報を共有して対応すべきこともあると考える。
- ・今学校は、道徳の教科化、タブレットの導入、小学校からの英語授業…と、新しい取り組みが始まっている。そしてやった方がいいことは取り組もうとし、学校が全部抱え込んで教員の多忙化がますます進んでいる現状がある。

(2) 第2回犬山市青少年健全育成市民会議役員会の報告について

9月10日(木)に開催された会議の内容を深見委員が報告した。主な内容は、会報「おあしす」の発行内容について、夏休みに小学生から募集したあいさつ標語の応募状況及び審査結果について、青少年健全育成講演会の開催についてであった。

三分間スピーチでは、長瀬会長が地域の高齢者を対象に紙ひもを編んでバッグ作りの指導者として取り組んでいる旨話されたことが紹介された。

(3) 青少年健全育成講演会の開催について

本年は、新型コロナウイルスの関係で、例年通りの開催はできない。当初は犬山高校と東部中学校の、2校開催を計画していた。高校は1～3年の全生徒に人権教育の一環として開催したい方針であったが、密を避けるため今年度は中止したい旨申し入れがあった。一方、東部中学校は単学年を対象にすれば密を避けられることから、2年生を対象に次のように開催することとなった。

- ・演題：「いのちと性を考える」
- ・講師：「いのちと性を伝える出前講座 はぐ」元助産師の愛智律子 氏
- ・開催日時：11月26日(木)14:00～15:00
- ・会場：犬山市立東部中学校体育館

(4) 青少年センターでの相談事例 (NO. 27) について
不登校になった高校生の保護者からの相談内容と対応について協議した。
(個人情報案件につき詳細は載せない。)

(5) 3分間スピーチ (板津副会長)

本日の研修内容と重なる部分があるが、社会福祉協議会では小中学校で福祉教育を進めている。そのテーマは「十人十色、みんな違っていい」である。一人一人は違うことが当たり前で、差別することではない。

一方で子どもたちを取り巻く社会には、古くからの習慣、風習、文化が根強くあり、ジェンダーについてどう子どもたちに伝えていけばいいのか難しさを感じている。地域共生社会の実現に向けて、様々な課題に取り組みながら進めていきたい。

6 連絡・報告事項、その他

(1) 青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)について

今年度は、新型コロナウイルス対策で従来通りグループを編成してのパトロール活動の実施は難しいため、個人が地域で子どもたちを見守る活動とする。

(2) 愛知県青少年保護育成条例のあらまし

本条例は時の状況に応じて内容が改正されていく。今回、保護者が同伴であっても深夜の青少年の外出は禁止になった。

(3) 愛知県青少年保護育成審議会委員の公募について

県は青少年保護育成審議会委員を広く県民から公募しているので紹介した。

(4) 小学生のための冬休みロボット塾の開催について

新型コロナウイルス関係で学校の夏休みが短縮された。その為夏休みに1回(5日間)講座しかできなかったため、冬休みに入った12月24日～27日に開設する。内容はプログラミングにより組み立てたロボットを操作するものである。

(5) 困難を抱えた子ども・若者支援のための研修会の開催について

困難(発達障がい)があり学校や日常生活で困難を感じている子どもたちへの支援方法について保護者や指導者に研修してもらうため実施する。特に今年度は小中高の年齢に応じた適切な支援方法について、療育指導員の清長豊氏から助言を受ける。

(6) 二十歳の集い2021の概要について

今年度は、参加者の密を避けるため、2部制にて1月10日(日)に市民文化会館にて二十歳の集いを開催する。様々なコロナ対策をとるが今後の状況に応じて、さらに分割して開催することも視野に入れている。

(7) 次回の3分間スピーチについて (松本委員)

(8) 本会議の青少年健全育成市民会議での報告者について (深見委員)

(9) 犬山市・犬山男女共同参画市民会議きらきら主催事業について

本協議会の委員である、田島、沖藤、南谷氏らも参加する「犬山男女共同参画市民会議きらきら」が主催する事業「トーク!トーク!トーク!」及び「SDGsから考える犬山の男女共同参画」事業について、南谷委員から紹介があった。

(10) その他

①南谷委員が主宰する「犬てつ」の活動を紹介する新聞記事を事務局より紹介した

②次回開催日時：12月23日(水)午前10時から午前11時30分まで

会場：市役所 201会議室

令和2年10月 日

上記に相違ないことを確認する。

(署名)

(署名)